

日本共産党

こんにちは 市会議員
南畑さち代 です

No. 56
2014・3・30
連絡先
453-7758

産廃業者 市に生活環境影響 調査実施計画書など 提出！

3月13日の市議会・厚生委員会、産業廃棄物課から安定型産業廃棄物最終処分場建設計画の進捗状況について報告がありました。内容は次の通りです。

平成23年1月26日、事業計画書（事前調査用）の提出後、事業者と関係機関・関係各課との間で協議を進めていたが、平成26年3月10日、（株）フォアシーズンファクトリーより「関係機関・関係各課との協議結果報告書」「生活環境影響調査実施計画書」および「生活環境影響調査計画に伴う事業計画書」が提出されました。



日本共産党 和歌山市会議員
南畑 さち代

産廃計画の危険性に対し住民は設置反対を求めてきました。和歌山市は業者に対して、住民不安に應える立場から「調査実施計画」に対してチェックを果たしているかが問われます。共産党市議団は情報を公開し、滝畑・山口

市は情報を公開し、 住民に説明せよ

— 共産党が要求

この提出を受けて、市は「関係機関・関係各課との協議結果報告書」について審査を行い、和歌山市に対し生活環境保全に関する事項について、専門的見地からの意見を求め「協議事項報告書」に相違ないか審査を進めたうえで業者に通知することです。

この日、滝畑、山口地域から22名の方が傍聴されました。



(山口地域に立てられている看板)

2月議会報告

介護施策について

厚生省の調査では、認知症高齢者は高齢者の15%と推定されており、そのうち2割が徘徊行方不明のリスクがあるといわれています。和歌山市でも昨年、和歌山市社会保険推進協議会開催の「介護シンポジウム」で、認知症高齢者の家族の方から、「徘徊で行方不明の経験がある」との報告がありました。和歌山県警によると県内の行方不明者は2013年で598人、そのうち認知症の方が23人との報告があります。認知症への理解と行方不明者の早期発見に取りくむべきだと質しました。

質問 市として認知症高齢者徘徊者が行方不明となったとき早急に発見できるシステムづくりは紀の川市や大牟田市など他市でも取り組まれています。和歌山市でも必要だと思いませんか。また、認知症サポーター養成講座を積極的に拡充すべきだと思いませんか。

答弁 高齢者が徘徊などで行方不明になった場合、早期発見するための

の住民の皆さんにきちんと説明責任を果たすよう求めました。いよいよこれからが正念場です。計画の危険性を広く知らせ、なんとしても計画撤回まで住民のみなさんとともに取り組んでいく決意です。

ネットワークづくりは、地域包括ケアシステムを構築する上で必要と考えます。第6期高齢者福祉計画及び介護保険事業計画を策定する中で検討します。認知症サポーター養成講座については今後更に5年計画で、市内全小学校で実施する予定です。

自転車走行環境整備の取り組みについて

国土交通省と警察庁が「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」を策定した。健康や環境への意識の高まり等を背景に自転車利用のニーズが高まっています。

和歌山県が昨年、紀ノ川河川敷をサイクリングロードに指定した。市としても国体を控えて市民全体がスポーツや健康増進に関心が高まっている時期に他府県に恥ずかしくない施策の充実に取り組むべきだと質しました。

質問 県のサイクリングロード計画の認識はどうでしょうか。また、市の施策として生かす計画はどうか。

まちづくり局答弁 紀ノ川サイクリングロードは地域の（裏面に続く）

危険いっぱい産廃処分場

「和歌山市の豊かな自然を守り、環境を考える会準備会」のパンフレットより抜粋

大阪・阪南方面



(表面より続く) 魅力を楽しみながら観光や健康づくりを促進するため、利便性・安全性を備えた自転車利用環境を整備する目的で、紀ノ川河川敷道路や堤防道路を活用し、和歌山市から橋本市までルートを示すブルーのラインやキオポストを設置し、平成27年度に完成する予定と県から聞いています。本市も活用ワーキング会議に出席しており、

また、市の独自策として四季百景キャンペーンパンフレットやホームページを活用し、

紀ノ川流域の市町村と協議し整備後の活用方法を検討し、集客を図っていきます。

また、市の独自策として四季百景キャンペーンパンフレットやホームページを活用し、



比較的平坦で親子連れで楽しめるサイクリングロードの情報掲載し、新たな地域の魅力として情報発信していきま

す。

教育局長答弁 今年には有吉佐和子さんの没後30年にあたります。紀ノ川沿いには有吉佐和子さんの小説に関連する建物や施設が存在していることから、流域の教育委員会とも連携し、「紀ノ川」をキ

無料生活法律相談

日時：4月 2日(水)
4月16日(水)
午後6時～7時
会場：河西診療所組合員ホール
申込：南畑幸代まで

無料生活相談

日時：毎週木曜日
午前10時～12時
(電話での相談は常時行っています)
会場：南畑幸代生活相談所
TEL 453-3418、453-7758(自宅)
和歌山市善明寺411-4

相談実施中は看板を出しています
お問い合わせは南畑幸代まで
435-1113 (日本共産党市議団直通)

社会保障・税番号制度について

昨年5月に自、公、民、みんなの党、日本維新の会などの賛成で「行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律案」が成立しました。法案成立に伴い、市・2月議会で初めて「情報システム管理委託料中S E委託料5023万3千円」が計上されました。国会で、日本共産党は同法案に

対し、「国民1人1人に原則不変の個人番号をつけ、個人情報をもとによって容易に照合できる仕組みをつくることは、プライバシー侵害やなりすましなどの犯罪を状態化するおそれがある」などの理由で反対しました。今2月議会において私も総務委員会で反対しました。

が増えていることから、体力向上や健康増進を図るため、サイクリングロードの活用を広く周知していきます。